

3年次前期・必修

1単位・30時間

【概要・目標】

在宅療養者と家族を支える在宅看護の方法と実際について学ぶ。さらに、保健医療福祉制度や保健医療福祉機関との連携、および医療機関から在宅への継続看護の意義、地域包括ケアにおける看護の役割について学ぶ。

1. 日本における在宅看護の発展過程について理解する。
2. 在宅看護の対象とそのニーズの特徴について理解する。
3. 在宅看護過程の展開と看護サービスの質の管理について理解する。
4. 保健医療福祉機関との連携の意義、保健医療福祉制度について理解する。
5. 在宅移行支援および継続看護、地域包括ケアにおける看護の役割を理解する。

【授業内容・スケジュール】

- 1) 在宅看護の概念、社会的背景および日本における在宅看護の変遷
- 2) 在宅看護の基盤、訪問看護ステーション
- 3) 在宅看護を必要とする療養者と家族の特徴
- 4) 地域包括ケアシステムにおける在宅看護
- 5) 地域療養を支える保健医療福祉制度
- 6) 対象に応じた在宅看護
- 7) 在宅看護過程の展開
- 8) 在宅療養者と家族の捉え方 1 (演習)
- 9) 在宅療養者と家族の捉え方 2 (演習)
- 10) 在宅における援助技術—測定・医療的ケア (演習)
- 11) 病院における地域連携の実際 (患者支援センターより)
- 12) 在宅療養者と家族の QOL (演習)
- 13) 在宅における援助技術—生活ケア (演習)
- 14) 在宅医療と訪問看護 (在宅医より)
- 15) 在宅における看護管理、在宅看護の課題と展望

【評価】

筆記試験 (90%)、出席状況および授業への参加態度など (10%) により評価する。ただし、筆記試験は 6 割以上の得点を必要とする。

【教科書】

臺有桂他編「地域療養を支えるケア」在宅看護論①第 6 版メディカ出版

【推薦参考図書】

臺有桂他編「地域療養を支える技術」在宅看護論②第 1 版メディカ出版
渡辺裕子監修「家族看護を基盤とした在宅看護論」日本看護協会出版会
押川眞喜子監修「写真でわかる訪問看護」インターメディカ
宇都宮宏子他編「看護がつながる在宅療養移行支援」日本看護協会出版会